

連絡先：自動車局 審査・リコール課リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線 42354
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成24年11月15日

| | | | |
|----------------------------------|--|---------|-----------------------------------|
| リコール届出番号 | 3061 | リコール開始日 | 平成24年11月16日 |
| 届出者の氏名又は名称 | 株式会社 タダノ 取締役社長 多田野 宏一 | | 問い合わせ先：品質安全部 TEL (087)894-7550 |
| 不具合の部位（部品名） | 燃料装置（燃料パイプ） | | |
| 基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因 | <p>① 原動機において、燃料パイプ製造時に発生するコネクタ部内部のしわにばらつきがあり、また、パイプコネクタ部の締付トルクが低いものがある。このため、高い燃料圧力が加わることにより、当該しわ部を起点とした亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。</p> <p>② 原動機において、サプライポンプとコモンレール間の燃料パイプを固定するクランプを付け忘れたものがある。そのため、エンジンの振動によりパイプに亀裂が発生し、燃料が漏れるおそれがある。</p> | | |
| 改善措置の内容 | <p>① 全車両、燃料パイプからの燃料漏れ（にじみ、滴下含む。）の有無を点検し、漏れ（にじみ、滴下含む。）が確認された燃料パイプは高圧仕様のものに交換し、新規設定の締付トルクで締付ける。漏れ（にじみ、滴下含む。）がないものは、新規設定の締付トルクで締付ける。</p> <p>② 全車両、サプライポンプとコモンレール間のパイプクランプの有無を確認し、クランプが取り付けられていない場合は、燃料パイプを交換し、クランプで固定する。</p> | | |
| 不具合件数 | ① なし ② なし | 事故の有無 | なし |
| 発見の動機 | 原動機供給元からの情報による。 | | |
| 自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・使用者：使用者を直接訪問またはダイレクトメールにて通知する。 ・自動車分解整備事業者：全使用者を把握しているため、周知のための措置は取らない。 ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカ付近に No. 3061 のステッカーを貼付する。 | | |

| 車名 | 型式 | 通称名 | リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間 | リコール対象車の台数 | 備考 |
|------|----------|-----------|---|------------|----|
| タダノ | EDR-T005 | GR-120N-2 | T005-0001～T005-0226 平成20年8月29日～平成23年6月20日 | 217台 | |
| コベルコ | EDR-EK04 | RK120-3 | T005-5001～T005-5037 平成20年9月18日～平成21年12月24日 | 37台 | |
| | (計2型式) | (計2車種) | (製作期間の全体の範囲) 平成20年8月29日～平成23年6月20日 | (254台) | |

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。